

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年6月17日(2021.6.17)

【公開番号】特開2019-141434(P2019-141434A)

【公開日】令和1年8月29日(2019.8.29)

【年通号数】公開・登録公報2019-035

【出願番号】特願2018-30300(P2018-30300)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 6 F

【手続補正書】

【提出日】令和3年4月28日(2021.4.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技を行う遊技機において、

遊技者にとって有利な所定状態に制御可能な所定状態制御手段と、

所定状態の終了後に特定状態に制御可能な特定状態制御手段と、

特定状態に制御されている旨を示唆する示唆手段と、

を備え、

所定状態の終了後、特定状態に制御され、当該特定状態が終了するまでに再度所定状態に制御された場合には、当該特定状態の前に制御されていた所定状態に関連する要素を引き継ぐことが可能であり、

特定状態の開始後、再度所定状態に制御されずに当該特定状態が終了するまでの期間が変動し、

エラーが発生したときにエラー状態に制御するエラー状態制御手段をさらに備え、

前記示唆手段は、前記特定状態に制御されている旨を示唆しているときに前記エラー状態に制御された場合、該エラー状態においても前記特定状態に制御されている旨の示唆を継続する、遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記課題を解決するために、本発明の手段1の遊技機は、

遊技を行う遊技機(スロットマシン1)において、

遊技者にとって有利な所定状態(CZ状態)に制御可能な所定状態制御手段と、

所定状態の終了後に特定状態(引戻状態)に制御可能な特定状態制御手段と、

特定状態に制御されている旨を示唆する示唆手段(有利区間報知LED12a)と、

を備え、

所定状態(CZ状態)の終了後、特定状態(引戻状態)に制御され、当該特定状態が終了するまでに再度所定状態に制御された場合には、当該特定状態の前に制御されていた所

定状態に関連する要素を引き継ぐことが可能であり、

特定状態（引戻状態）の開始後、再度所定状態に制御されずに当該特定状態が終了するまでの期間が変動し、

エラーが発生したときにエラー状態に制御するエラー状態制御手段をさらに備え、

前記示唆手段は、前記特定状態に制御されている旨を示唆しているときに前記エラー状態に制御された場合、該エラー状態においても前記特定状態に制御されている旨の示唆を継続する（図7）。

ことを特徴としている。

この特徴によれば、所定状態の終了後、特定状態に制御され、当該特定状態が終了するまでに再度所定状態に制御された場合には、当該特定状態の前に制御されていた所定状態に関連する要素を引き継ぐことが可能となるため、所定状態の終了後の興味を高めることができ。また、所定状態の終了に伴う特定状態の開始後、再度所定状態に制御されずに当該特定状態が終了するまでの期間が変動し、所定状態毎に、その後、再度所定状態に制御された場合にそれよりも前の所定状態の要素を引き継ぐことが可能となる期間が変動するので、所定状態の終了後の興味をさらに高めることができる。